

みやぎの3R「へらす」「つかう」「もどす」

循環型社会を形成するためには、廃棄物等の発生抑制(リデュースReduce), 再使用(リユースReuse), 再生利用(リサイクルRecycle)の頭文字をとった“3R”の取り組みを進めることが大切です。

ごみを「へらす」 リデュース



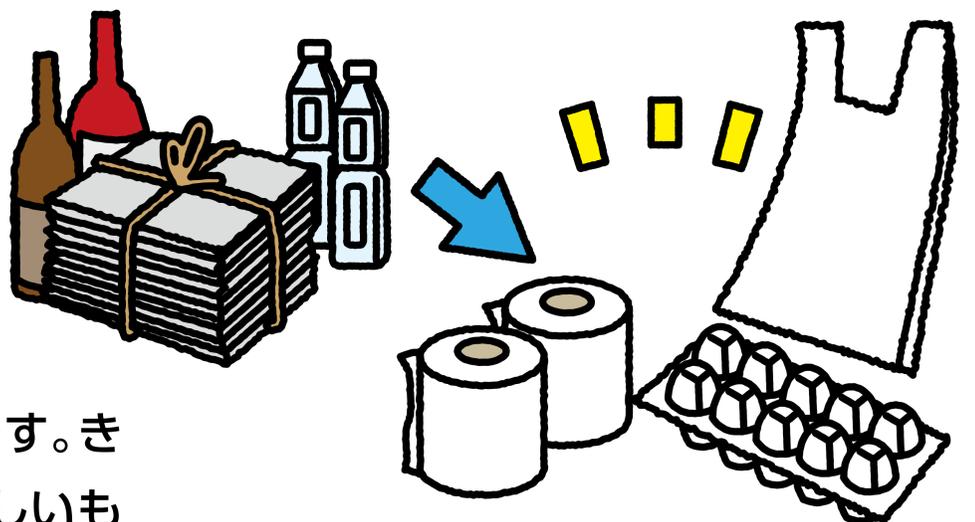
できるだけごみを出さないように気を付けます。無駄なものを買ったり, もらったりしないようにします。

ものを大切に「つかう」 リユース



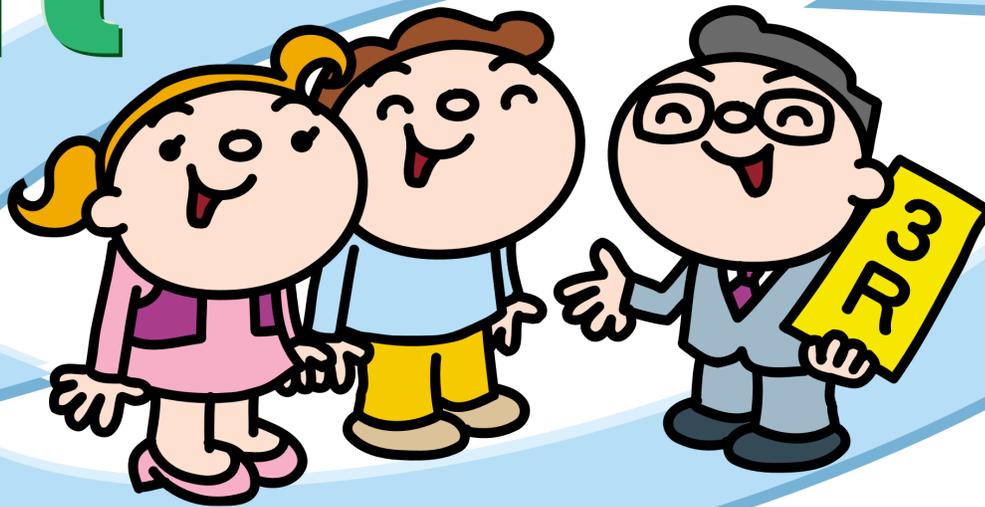
いらなくなったものをすぐに捨てずに, 洗ったり修理したりしながらもう少し大切にくり返し使います。

きちんと分別して「もどす」 リサイクル



ものを捨てるときは, ルールを守って分別します。きちんと分別されると, 「ごみ」は「資源」として, 新しいものを作るときに利用することができるようになります。

3R



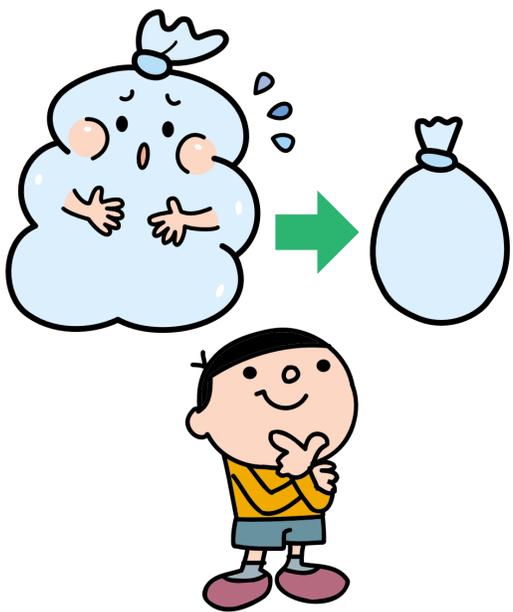
ごみ減らしのポイントは「3つのR」

①

Reduce

(リデュース)

ごみを減らす



ごみの量を減らすためには、そもそもごみを出さないようにすることが大切です。できるだけごみを作らない、無駄なものを買わない、もらわないようにしましょう。

②

Reuse

(リユース)

繰り返し使う



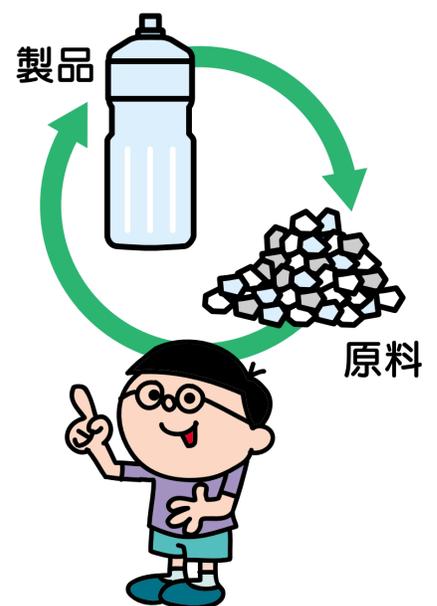
いらなくなったものをすぐに捨てるのではなく、洗ったり直したりして、繰り返し大切に使いましょう。

③

Recycle

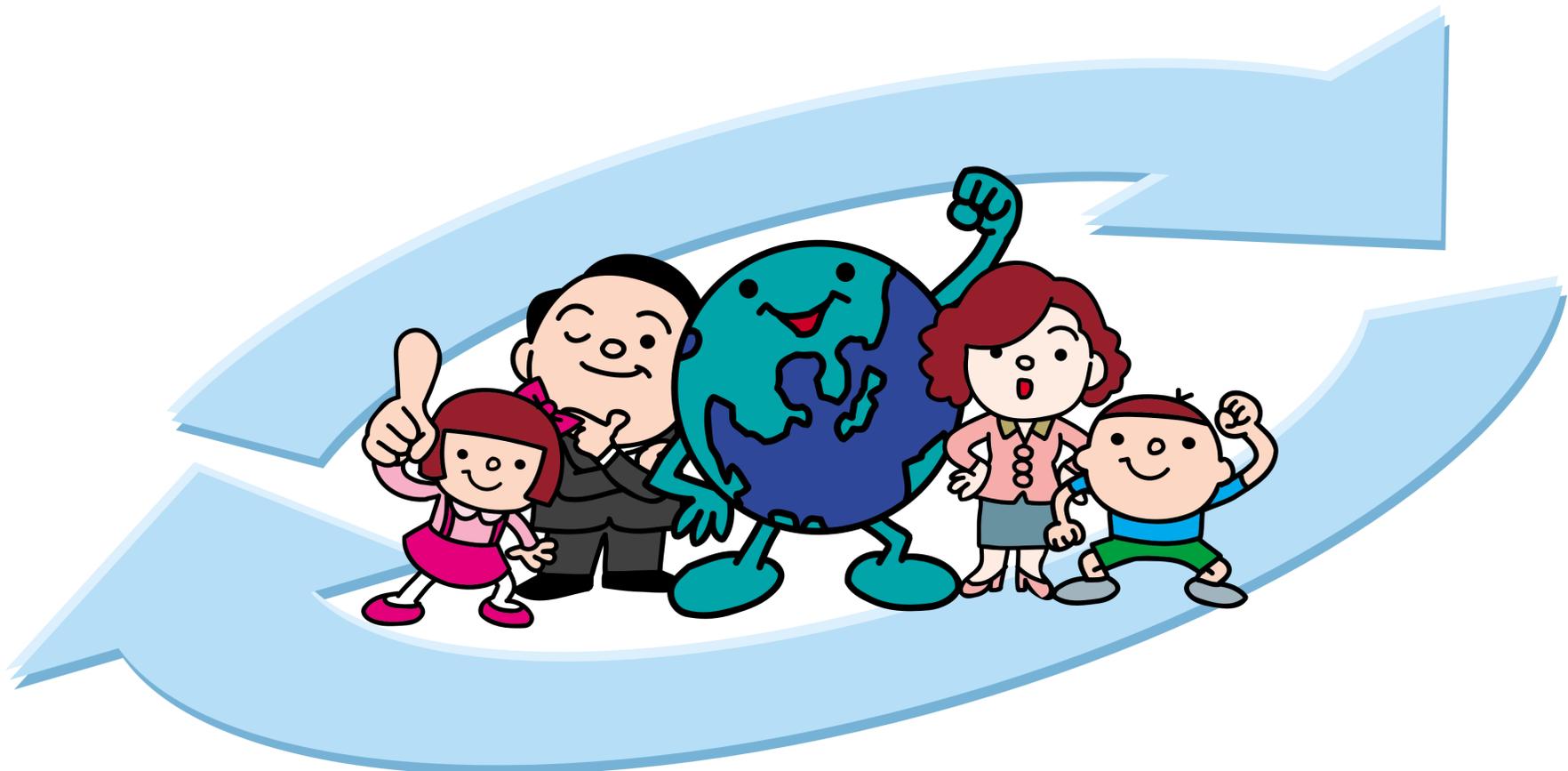
(リサイクル)

再び資源として利用する



使い終わったものを捨てる時は、大切な資源として活かせるよう、ルールに従って分別しましょう。また、リサイクルされた製品(グリーン製品)を購入することも大切です。

順番も大切



環境に優しい 資源循環型のライフスタイルへ

お家では

長年にわたって大事に使う

詰め替え製品
を使う

ごみはきちんと
分別して排出する

リースやレンタル品
を利用する

長寿命設計の家電

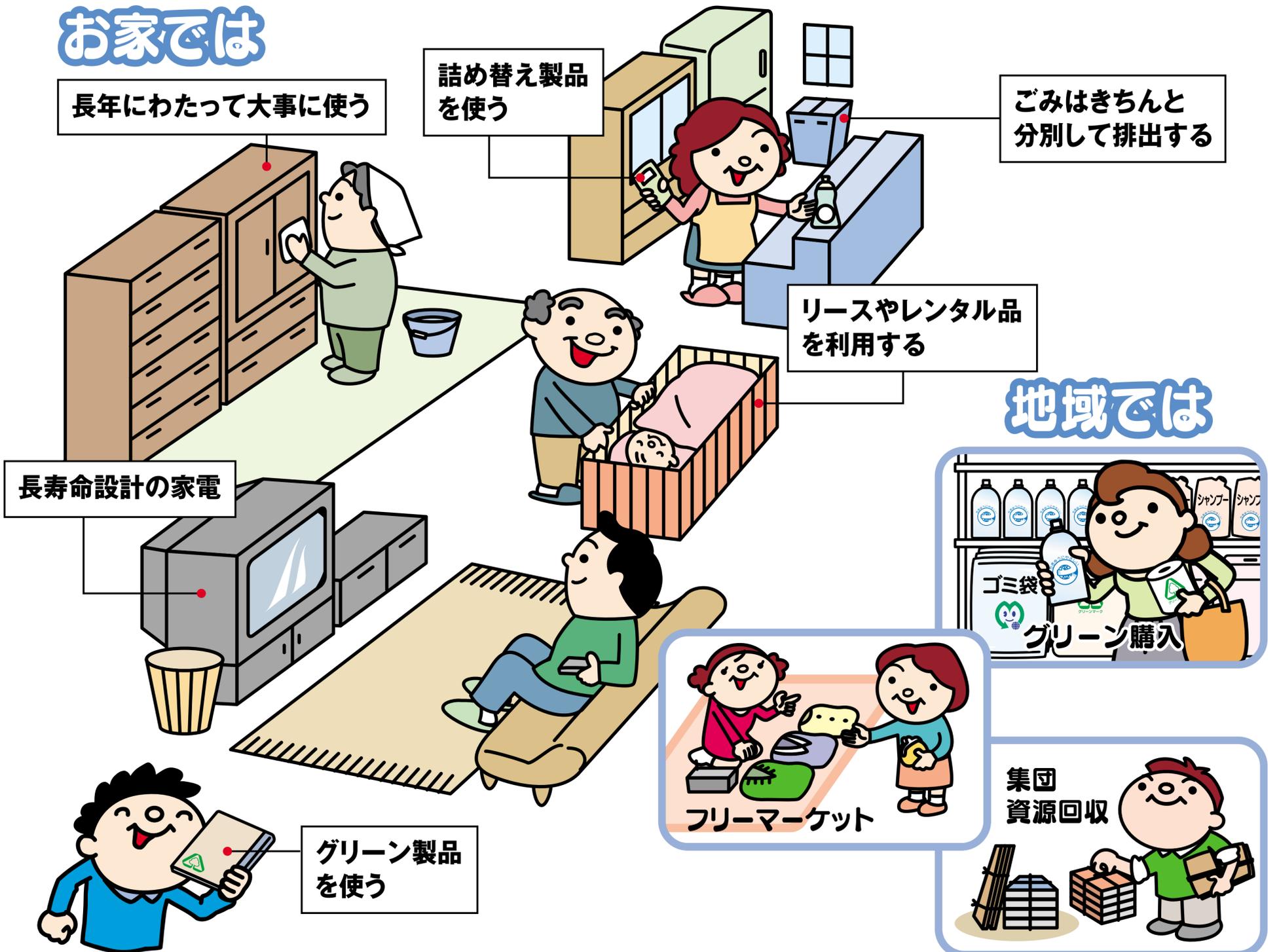
グリーン製品
を使う

地域では

ゴミ袋
グリーン購入

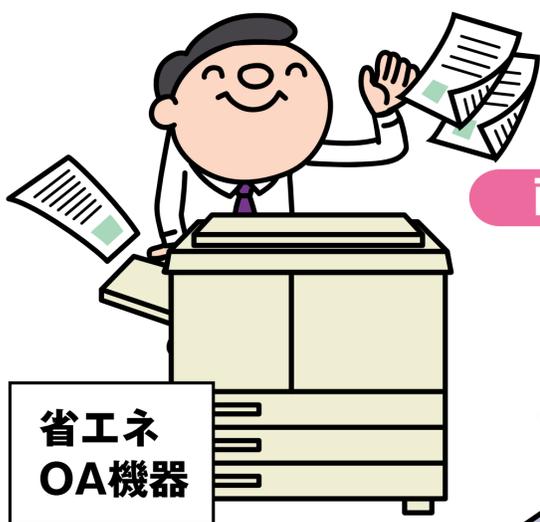
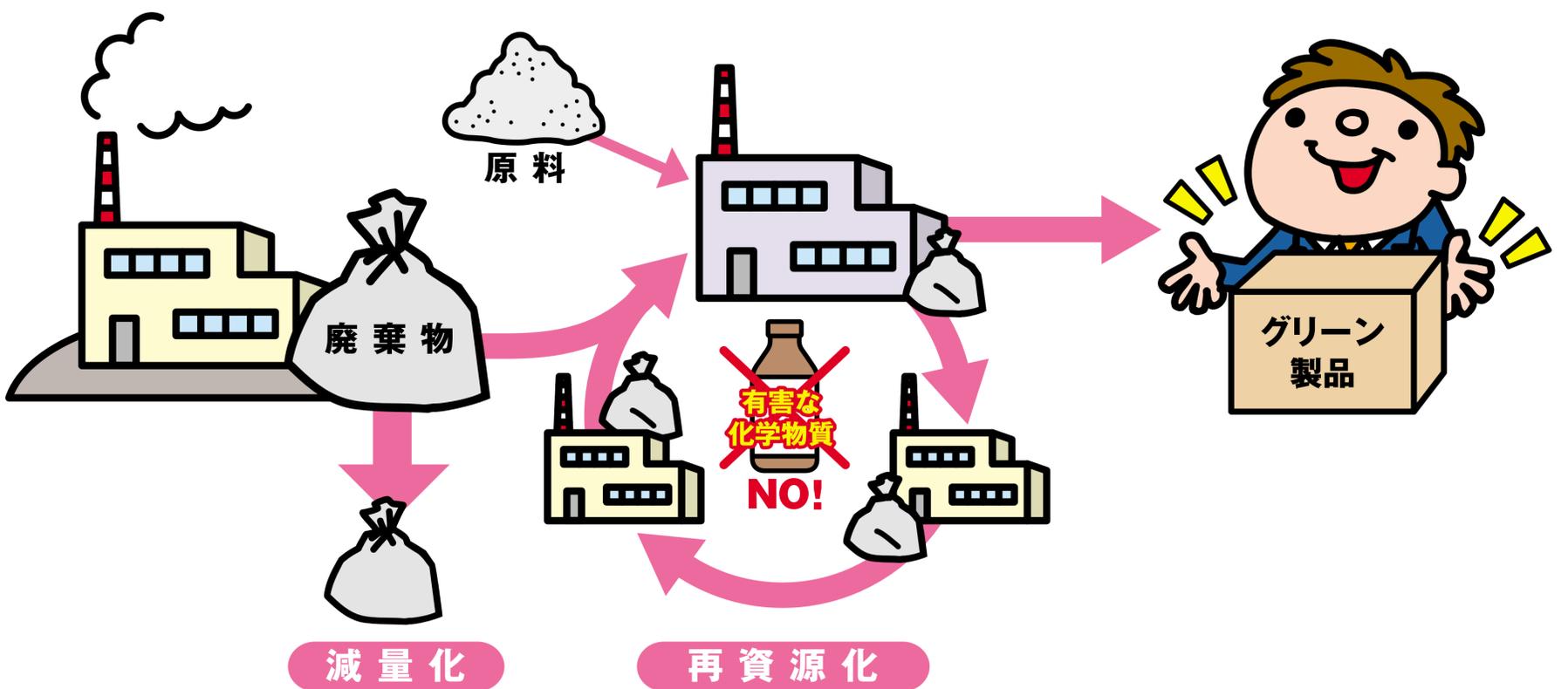
フリーマーケット

集団
資源回収





環境に配慮した事業活動



両面コピー



グリーン製品の使用・購入

修理サービス



バージョン
アップ

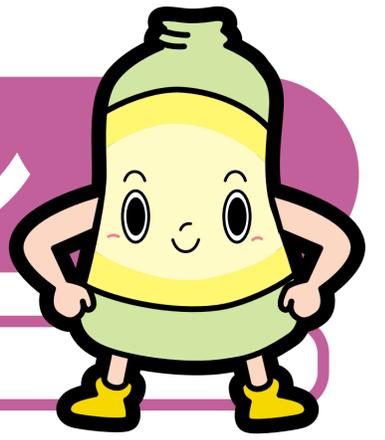


維持管理
サービス



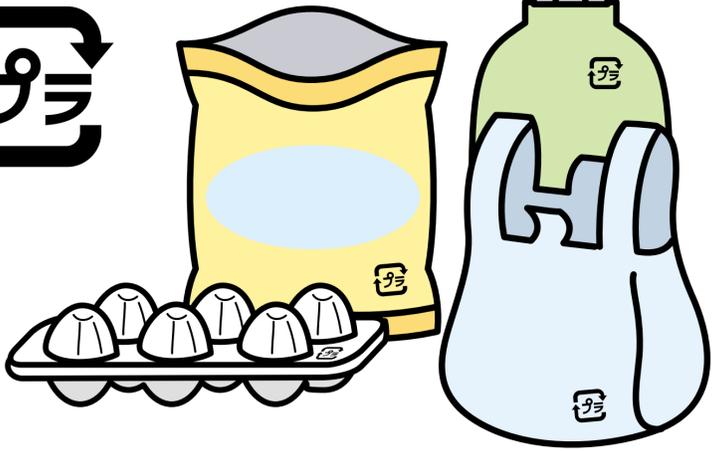
長く使うためのサービス

プラスチックのリサイクル



リサイクルのマナー

プラスチックのマークを確認



お弁当の容器など、汚れている場合は、軽く水で流す



プラスチックリサイクルの流れ



消費者

- 中身は使い切る
- 汚れている場合は、異物をとって軽く流す

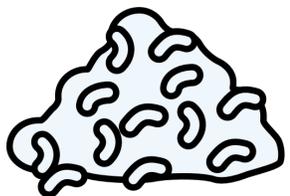


分別収集

分別・選別
異物の除去

粉々に砕く

ペレットフレーク



再商品化

高炉原料化

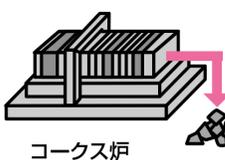
高炉原料として
コークスや石炭
の代わりに利用
します。



高炉

コークス 炉原料化

コークス炉原
料として石炭
の代わりに利
用します。



コークス炉

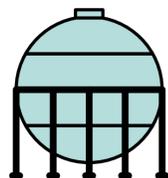
材料 リサイクル化

プラスチック製
品の原料として
利用します。



ガス化

熱で分解してガ
ス化を生成し、
化学工業原料や
燃料として利用
します。

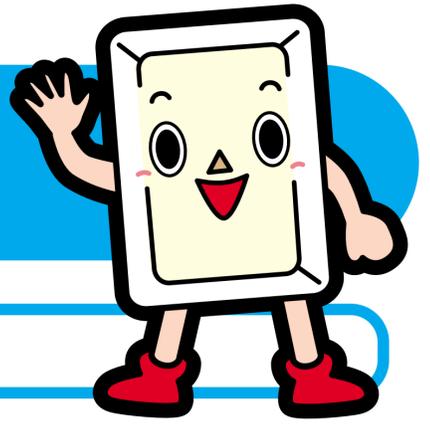


油化

熱分解等により
油に戻し、化学
工業原料や燃料
などとして利用
します。

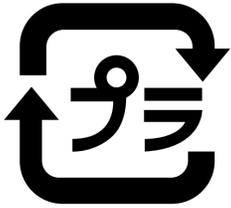


白色トレイのリサイクル

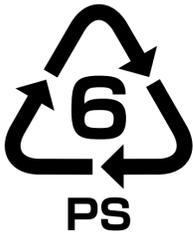


リサイクルのマナー

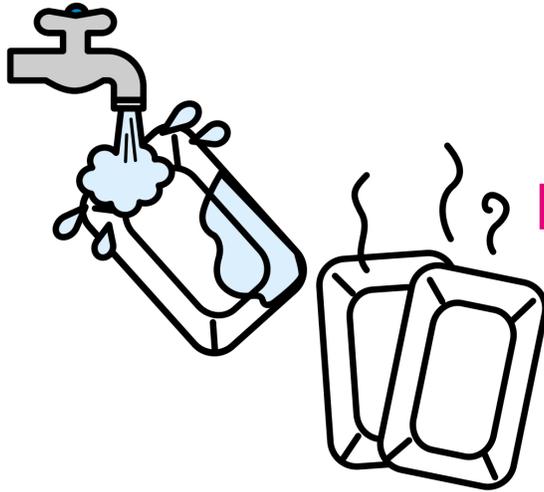
白色トレイのマークを確認



白色トレイには、プラスチックのマーク以外にもこんなマークがついていることがあります。

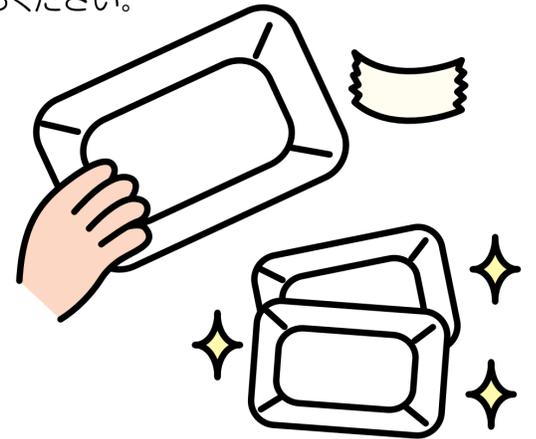


軽く水で流して乾かします。



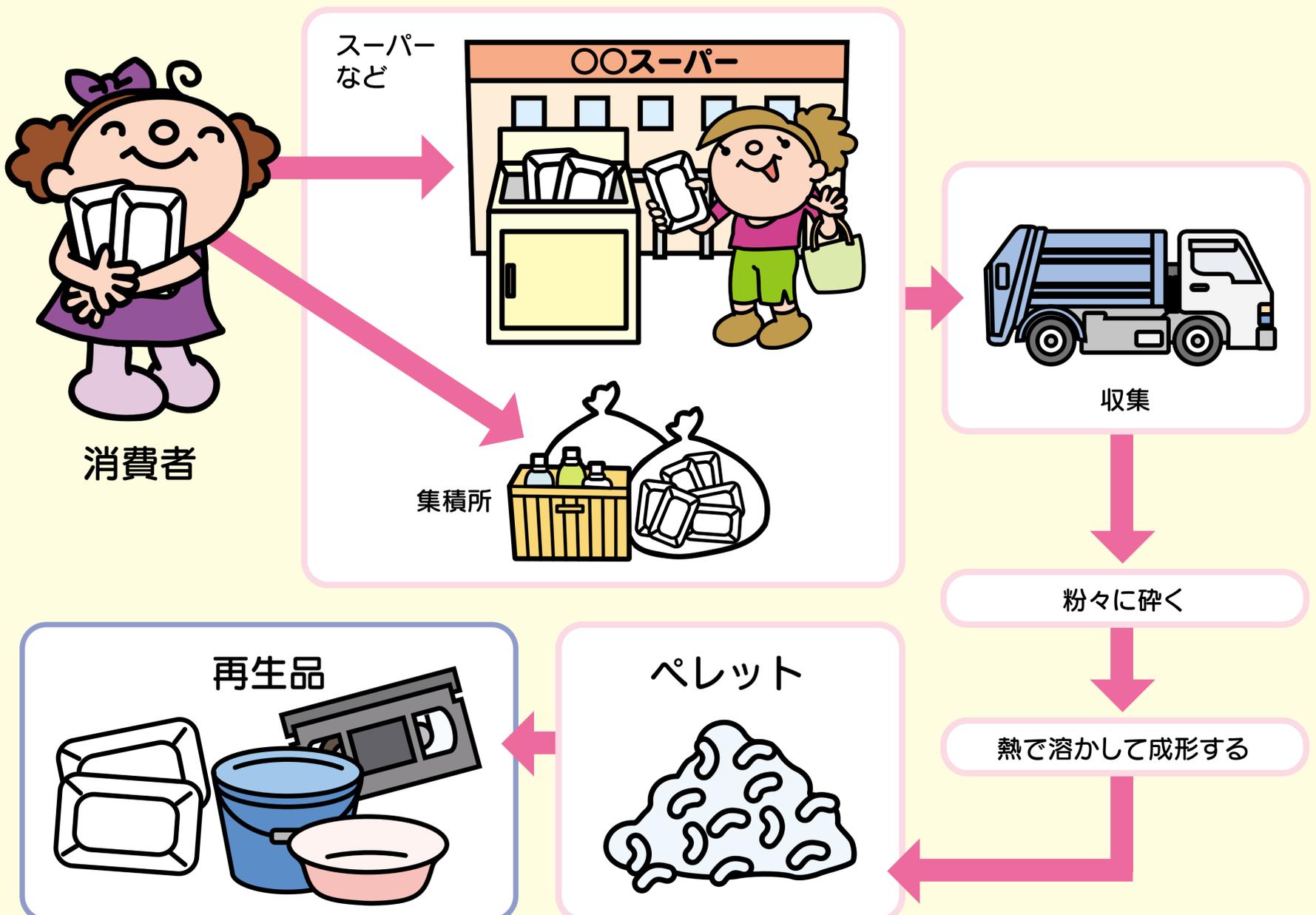
異物は取り除きます。

シールやセロハンテープをはがしておもちください。



集める場所によっては、白色のものだけで、柄があるものを集めない場合もあります。また、リサイクルできないトレイもあります。分別の基準をよく調べてみましょう。
例)汚れているトレイ、カップラーメンのカップ、納豆の容器

白色トレイリサイクルの流れ



廃食用油のリサイクル



～廃食用油をバイオディーゼル燃料とする

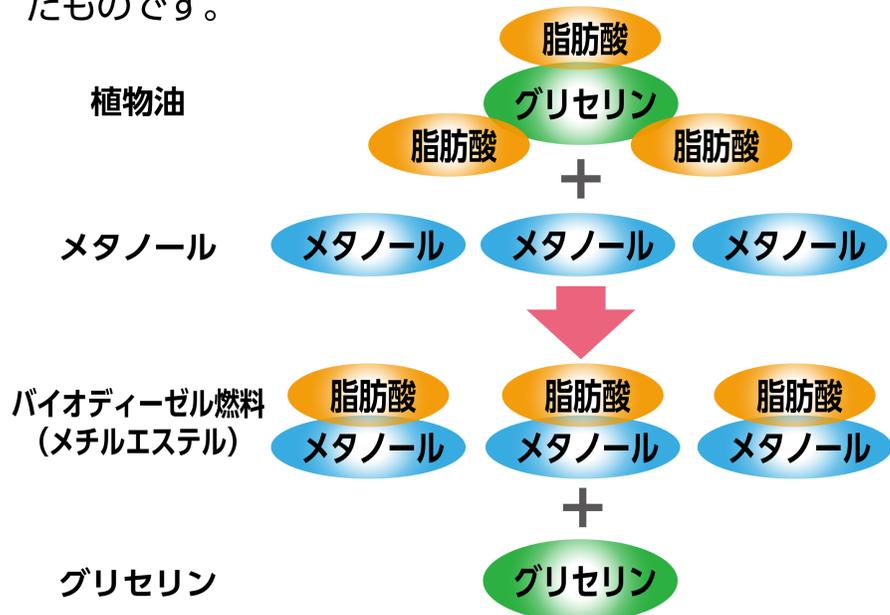
循環型社会推進と地球温暖化防止に向けた取組～

国内で発生する廃食用油は、年間約45万トンと言われており、食品・外食産業などの事業系廃食用油(約25万トン)は、回収され、飼料や工業用の原料として利用されています。

最近では、循環型社会の構築や地球温暖化防止の観点から、ディーゼル車の軽油代替燃料(バイオディーゼル燃料(BDF:Bio Diesel Fuel))の原料として利用する取組が全国各地に広がっています。

バイオディーゼル燃料とは

家庭やレストラン、食堂から回収された使用済みてんぷら油などをメタノールと反応させることで粘性や引火点を低くし、ディーゼル車で利用できる燃料に精製したものです。



廃食用油をバイオディーゼル燃料にすると

●化石燃料の使用抑制に伴う地球温暖化防止

化石燃料を燃焼することによって発生する二酸化炭素をなくし、生物由来の廃食用油を化石燃料である軽油の代替とすることで温室効果ガスの削減につながり地球温暖化の防止に大いに役立ちます。

●環境にやさしい低公害燃料

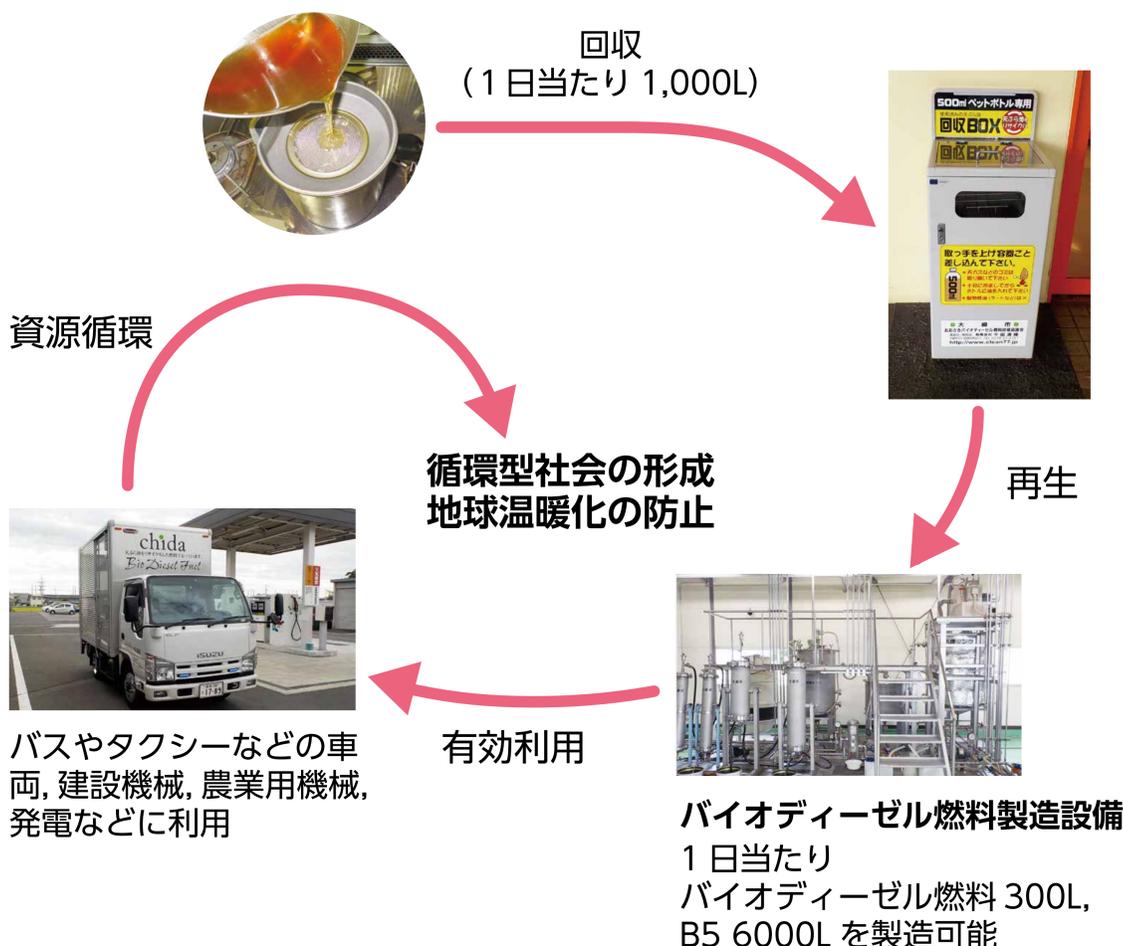
バイオディーゼル燃料は自動車排ガス中の黒煙を大幅に減少し、酸性雨の原因となる硫黄酸化物もほとんど発生しない低公害燃料です。

●循環型社会の形成を促進

市民・事業者・行政のパートナーシップのもとに廃食用油の回収の輪を広め、燃料として再利用する取組によって、人と人との交流が生まれ、循環型社会の構築に欠くことのできない、地域活動が活性化します。

宮城県内の取組事例

大崎市内では、県内外600箇所以上の施設、店舗及び企業等から回収した廃食用油を原料として、バイオディーゼル燃料や、軽油にバイオディーゼル燃料を5%混合した「B5」の製造が行われています。バイオディーゼル燃料やB5はバスやタクシーといった車両などに利用され、循環型社会形成・地球温暖化防止の取組に活用されています。



環境に優しい買い物をしよう!

チェック!



まずは買うものを
チェックしよう。



マイバッグは
持ったかな?



さあ買い物に
出かけよう!



食べきれる分だけ
買おう。



詰め替え用を
選ぼう。



リサイクルマークや
環境ラベルは
ついているかな?



余計なものを
買わないと、
お財布にも優しいね。

バッチリ!



ごちそう
さま!



食べきれる分だけつくって、
おいしく、楽しく食べきろう。

買ったものを
最後まで使おう。

